

第11回(2014)守山ほたるパーク&ウォーク

大勢の観覧者が守山を訪ねて下さいました

第11回守山ほたるパーク&ウォークが開催され4万人を超える観覧者が訪れて下さいました。

会場は市外や県外からも、電車や自家用車でも来て頂きやすいスポットだと感じました。今回開催するにあたり企業や自治会、団体、学生、行政などに企画から実行委員会に入っていただきました。夜間の開催の為、安全第一と考え警備を強化し、皆さんの協力のお陰で事故も無く終了した事は本当に良かったと感謝いたしております。

盛り沢山のイベントが開催され、恒例となりました夢灯は昼間とは違う幻想的な雰囲気の中、まるで違う世界に入り込んだような気分になりました。

また、まちなかたそがれ音楽祭では地元のスターに感動の拍手を送りました。



オープニングセレモニーの様子

夜も更けほたるが飛び交う時間には、散策路には多くの観覧者が訪れ、ホタルの姿に癒しを感じていただけたと思います。「ほたるの住む町守山」を掲げ、市街地にホタルの飛び交う川づくりを目標にみんなで頑張っているのですが、街灯の問題や、宅地開発、河川改修など、ホタルには大変住みにくくなっています。このような状況の中、ホタルが住める河川環境を作るには、地域住民のご理解とご協力が第一と考えます。身近な河川でホタルが飛び交うことで、地域住民の意識も変わり、ひとつになってホタルに優しい川づくりに努力されている事でしょう。ホタルに癒され、ホタルが飛ぶ自慢のふるさと守山を次世代に繋げられるよう、今私達に出来る限りの事を努力していきたいと思っております。最後に今回の守山ほたるパーク&ウォークに関わって下さった全ての皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。



ずらりと並んだ夢灯(ゆめあかし)

水辺の楽校「春編」開催しました

3月21日(金)祝日のこの日、目田川河川公園で水辺の楽校「春編」を開催しました。

お天気はこの時期にはめずらしく一時的に雪が強く降る寒い日となりましたが、時折のぞく太陽に照らされて川辺の春さがしをしました。ツクシや水に棲むいきものなど、テントの下で寒さをしのぐ保護者をしり目に、子どもたちは元気に土手や川の中での探検やホタルの幼虫の放流をしました。

その後の春の野草を使った天ぷらは、いつも目にする道端の植物をおいしく食べることが出来ることを知り、大変好評でした。

雪の合間をぬっての活動や、風をしのぐためみんなで工夫したりと、たいへんでしたが、思い出に残る楽校となりました。

参加者からは、今度はみんなで雪合戦をしたいという意見も出ていました。



幼虫の放流をする参加者

2014年度夏原グラント助成金交付決定!

～今年もがんばりましょう!～

夏原グラントは、昨年度のオオバナミズキンバイに関わるため、活動費として申請し、採択されました。おかげでこれを基に、プロジェクトを発足し、「オオバナミズキンバイ除去大作戦」や啓発冊子の発行など、幅広い活動を繰り広げることができました。今年度も同じ目的で申請したところ、昨年と同じく交付されることが決定しました。

更に、今年はプロジェクトに滋賀銀行の参加が決定し、除去活動のほかに、刈取りの活動拠点としている赤野井湾ワンドの生息場所の定期的な測定や、刈り取った場所のパトロールなど更に充実した活動が展開できると期待しています。

今後プロジェクトでは、滋賀県や守山市とも連携をとりながら、完全除去を目的に活動を続けたいと思います。



第3回オオバナミズキンバイ除去大作戦の様子

タイ(バンコク)

皆さんお元気ですか?

タイでは戒厳令発令などと日本では考えられないような大変なことが起っていますが、私の日常は日本に居るときと変わりなく、毎日の献立に頭を悩ませています。タイにもスーパーはたくさんありますが市場もたくさんあります。私も時々市場で買い物をします。中でもお目当ては“魚”。スーパーより断然種類が多く新鮮です。そしてさばいてくれるおばちゃんとのやりとりも楽しいです。

「ローク ナン」(皮を剥いで) 「タット クルン」(半分に切って) などカタコトのタイ語を話すとおばちゃんもニヤリ!! 太刀魚、舌平目、キス、さば(タイでもプラサバという)など、日本でも馴染みのある魚が並んでいます。果物屋では、おばちゃんが薦め上手で、いつも日本語で「おくさん!」と声をかけてくれます。タイでは「おくさん」と言う言葉はとても浸透しているようです。果物は安くて種類も多く、先日ドリアンを買いました。臭いと評判のドリアンですが、新鮮だと臭いも気にならず、味はネットリと濃厚、美味しくいただきました。



市場に並んだ魚

今のタイは街中至って平常そのものです。夜間外出禁止令も解除になりました。みなさん、どうぞご安心を。

鈴木(タイ在住)



タイの市場の様子

Vol.16
海外編